

公益社団法人 日本ビリヤード協会 御中

## 関東支部と神奈川支部の段位戦の問題についての意見書

2020年6月26日  
神奈川県ビリヤード協会  
安藤 敏浩

神奈川支部は公益社団法人ビリヤード協会（以降 NBA）と協議し正式な手順を踏んで段位戦を開催しています。根拠として神奈川支部は競技会を行った後、NBA に段位の申請を行い段位の認定を頂いています。よって NBA は神奈川支部の段位戦を認可していると言う事になると考えています。

キャロム会議が神奈川支部の段位認定基準に意義があるのであれば神奈川支部ではなく認可、段位認定をしている NBA との問題であるので NBA と話し合う事が筋であると考えています。（神奈川は支部なので、NBA の意向を受け協議する事が妥当と考えています。）

段位認定基準に意義があるのであれば組織対組織の協議であるため主観や感情論を排除しデータと根拠を持って協議を行うべきです。キャロム会議が主張している関東と神奈川のレベルの違いについて本来は根拠とデータをキャロム会議側で提示するべきかと思われます。今回は神奈川支部にてアベレージとヒストグラム（アベレージ分布図）を提示しました。この結果を見る限り、それ程大きな差も無くレベルが違うと言うには無理があると考えています。

また、キャロム会議が主張する参加人数や試合数によるレベル差や難易度に関しましても統計学の観点から申し上げて無関係で根拠にならない事は、はっきりしています。よって、神奈川支部はキャロム会議側の下記の提案の受け入れを拒否致します。

### 【提案内容】

- ① 昨年、神奈川で取得した段位を有する人が関東支部の大会に出場するときは、救済措置として最初の一回だけその段位で出場してもらい、一次予選で規定のアベレージに達したら以降は関東の試合に出続けることができる。
- ② 今後の試合に関しては神奈川で段位を取得しても関東の段位とは関係ない（神奈川の段位を関東は認めない）

上記①②の提案を神奈川が飲まなかった場合には、救済措置は無く現状のまま。つまり、神奈川で取得した段位は関東では関係なく関東で管理している段位で試合に出場してもらう。

なお、キャロム会議との協議に関して、今後、根拠のない協議に神奈川支部としては応じるつもりはなく今後は協会認可団体名と代表責任者を明示の上、文書にて協議を行うように日本ビリヤード協会から改善して頂きたく宜しくお願い申し上げます。 以上